

各学校（園）長様
関係者様

熊本市立壺川小学校長 榎原 圭子

令和5年度（2023年度）熊本市教育センター研究モデル校（カリキュラム・マネジメント）
熊本市立壺川小学校 公開授業及び授業研究会のご案内

研究主題

主体性が育つ教育活動の創造
～「つながり」を生かした壺川カリキュラムを通して～

- 1 期日 令和6年1月19日（金）
- 2 会場 熊本市立壺川小学校
- 3 日程

| | | | | | | | |
|-------|--------------------------|-------|-------|-------|--------------|-------|-------|
| 13:20 | 13:40 | 14:00 | 14:10 | 14:55 | 15:10 | 16:40 | 16:45 |
| 受付 | 学校長挨拶 研究概要説明 （体育館） | 移動 | 公開授業 | 休憩 | 分科会 （低・高） | アンケート | |

4 公開授業

| クラス | 教科 | 単元名 | 授業者 | 会場 |
|------|----|------------------|-----------|--------|
| 2年1組 | 生活 | もっとなかよし 町たんけん（2） | 教諭 吉田 亜古 | 2年1組教室 |
| 5年2組 | 社会 | 環境を守るわたしたち | 教諭 三田 創一朗 | 5年2組教室 |

5 分科会

| 分科会名 | 実践発表（15分） | 授業研究（60分） | 助言者（15分） | 会場 |
|--------|-----------------------------|---------------------------------|-----------------------|--------|
| 低学年分科会 | 1年 生活 3年 国語 なんぷう 自立活動 | 2年 生活科 「もっとなかよし 町たんけん（2）」 | 熊本市立西里小学校 校長 森江 一史 | 2年1組教室 |
| 高学年分科会 | 4年 総合 6年 社会 | 5年 社会科 「環境を守るわたしたち」 | 熊本市立花園小学校 校長 杉本 佳秋 | 5年2組教室 |

6 参加申し込み

- 右の2次元バーコードよりお申し込みください。
- お申し込みいただいた方に、Teamsにて資料等を配付いたします。

締め切り 令和6年1月5日（金）



【問い合わせ先】 熊本市立壺川小学校 教頭 城 尚之
TEL : 096-325-8267 E-mail : kosenes@kumamoto-kmm.ed.jp

【研究の概要】

本校では、主体性を「自分の意志や判断に基づき、責任をもって行動しようとする態度」と捉え、子どもの学びにおける主体性の育成に焦点化した教育課程「**壺川カリキュラム**」(主体性育成カリキュラム+地域連携カリキュラム)を編成しました。

この「壺川カリキュラム」の特徴は、**子どもの主体性が高まるために必要だと考える「つながり」を教育活動全体に意図的に組み込んでいる**ことです。

そして、授業づくりにおいて、その「つながり」を活用した**単元づくり**に取り組むとともに、1時間1時間の授業では、**場面ごとに主体性が高まる手立て**を講じることを意識して実践してきました。



地域連携カリキュラム

【ご提案】

① 「主体性が育つ授業」とは？

子どもの学習意欲を高めようと、これまでの授業づくりでは導入の工夫に特に重きをおいてきました。しかし、子どもの姿を見ると、最初はあんなに意欲があったのに授業が進むにつれて失速していった・・・先生方、そんな経験はありませんか。そこで私たちは、**導入・展開・終末のそれぞれの場面で子どもが意欲的に学び続ける授業**を目指しました。提案授業では、子どもの主体性の高まりを見ていただきたいと考えています。



② 「主体性が育つ単元づくり」の紹介 ～45分勝負の授業からの脱却～

授業は45分間で終わります。どんなに研究した授業であっても、子どもにとっては単元の学習の一部でしかありません。そこで私たちは、単元全体を通して子どもの主体性が高まっていく「主体性が育つ単元づくり」にも取り組んできました。そのポイントは、

- ・**子どもの思いを大切に**した単元構成
- ・「**つながり**」を活用した**学びを生かす場の創造**

です。

③ 学びの土台となる取組

子どもが主体性を高めるには、対人的に安心して学べる環境が必要だと言われています。そこで、子どもが、友だちや教師との良好な関係を築くために、以下の取組をしました。

朝学習

主体性に関する心理学の知見をもとに、個別探究学習や対人関係スキルアップ活動を取り入れています。

壺川カフェ

子どもにとっての最大の教育環境は教職員です。私たち自身が主体的に学び続ける場として「壺川カフェ」を開催しています。

壺川カフェのモットーは「自由」と「ニーズ」です。



地域の方と一緒に

研究発表会にて全学年の取組も紹介します。



研究発表会にて詳しく紹介します。